

秘
農林水産省

総務省承認 No.	27490
承認期限	平成21年3月31日まで

【職員記入欄】

(この項目は農林水産省の職員が記入します。)

階層区分	1	2
------	---	---

畜産統計調査 肉用牛調査票

(平成21年2月1日現在)

＜畜産統計調査とは＞

主要家畜の飼養戸数・頭羽数及びその規模別分布を把握し、我が国の畜産業の現況を明らかにするとともに、畜産行政の基礎資料を提供することを目的として実施しています。

＜調査結果の秘密の保護＞

この調査で得られる調査結果は、統計を作成するためだけに使われ、課税等の資料に用いることは、法律で固く禁じられており、調査結果を他に漏らしたりすることはありませんので、是非ありのままお答えいただくようお願いします。

＜＜ 記入に当たっては、以下のことに注意してください ＞＞

- 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。
- で囲まれた記入欄は集計項目ですので、必ず記入してください。
ご記入に当たっては記入見本を参考に、数字は枠からはみ出さないように、また、○印は点線に沿うように記入してください。
- で囲まれた記入欄は補助欄ですので、必ずしも記入の必要はありませんが、飼養実態などを調査票に正しくご記入いただくために活用してください。

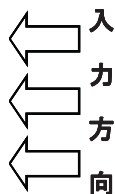
記入見本

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

① ② ③

～ 調査や調査票の記入の仕方などに関するお問い合わせは、
下記の「連絡先」までお問い合わせください。～

【連絡先】



【職員記入欄】（この項目は農林水産省の職員が記入します。）

調査年	局・農政事務所	センター	市区町村	整理番号	抽出階層
基本指標番号	2009	:	:	:	:

4611

2

1 目的別飼養頭数

2月1日現在、飼っている肉用牛の頭数を種類別に記入してください。

肉用牛計 (2)+(3)+(4)	肉用種	交雑種 (F1・F1クロス)	乳用種
(1)	(2)	(3)	(4)
:	:	:	:

乳用種のうち、めすの頭数を記入してください。

(5)
:

記入のポイント

肉用種(2)

肉用種には、主に以下の牛が含まれます。

- 和牛（黒毛、褐毛など）
- 外国系の肉専用種（ヘルフォード、アパディーン・ガウスなど）
- 和牛同士の交雑
- 外国系同士の交雑
- 和牛と外国系の交雑

交雑種(3)

交雑種には、以下の牛が含まれます。

- F1牛（乳用種のめすに、肉用種のおすを交配して生産された牛）
- F1クロス牛（F1牛のめすに、肉用種のおすを交配して生産された牛）

乳用種(4)

ここでいう乳用種とは、肉用を目的として飼っている乳用種の牛をいいます。

- 乳用種のおす
- 未経産の乳用種のめす（搾乳を行わずに肥育する予定のめす牛）

注：一度でも搾乳目的で飼養された牛（乳廃牛）は、この調査票の乳用種には含まれません。→→ 乳用牛調査票で把握しています。

肉用種について、目的別に頭数を記入してください。

肉用種計 (7)+(8)+(9) (=2)	育成牛	肥育牛 (種おす牛含む)	子取り用 のめす牛
(6)	(7)	(8)	(9)
:	:	:	:

同じ値が入ります

記入のポイント

育成牛(7)

もと牛（概ね、生後8～10か月）として出荷する予定の牛で、ほ育中または育成中の牛をいいます。

注：ほ育中または育成中の牛であっても、引き続き自家で肥育を行う予定の牛は育成牛には含み

肥育牛(8)

肉用として出荷する予定の牛をいいます。

- 肥育中の牛
- ほ育中または育成期間中の牛のうち、引き続き自家で肥育まで行う予定の牛。

子取り用のめす牛(9)、(10)

繁殖目的で飼養しているめす牛のほか、今後繁殖用とする予定でほ育中または育成中の牛をいいます。

注：繁殖牛であっても、今後繁殖を行う予定がなく、既に肉用として肥育中の牛は子取り用めす

子取り用のめす牛について、年齢区分別に頭数を記入してください。

子取り用のめす牛計 (11)+(12)+(13)+(14)=(9)	(10)
1歳未満 (～11か月)	(11)
1歳 (12か月～23か月)	(12)
2歳 (24か月～35か月)	(13)
3歳以上 (36か月～)	(14)

4

以下の2～4の項目については、表紙の階層区分が「1」の場合のみ記入してください。

経営タイプ

2月1日現在の該当する経営タイプを、番号1～7から一つ選択し、点線に沿って○で囲んでください。

肉 用 種 經 営				乳 用 種 經 営		
子 取 り	肥 育	一 貫	そ の 他	育 成	肥 育	一 貫
(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)

💡 記入のポイント 💡

肉用種経営(15)～(18)

肉専用種の飼養を主とする経営をいいます。

- 種おすのみの飼養を行っている場合は、肥育経営となります。
- 育成のみを行っている場合は、その他の経営となります。

乳用種経営(19)～(21)

肉用を目的とした乳用種及び交雑種（F1、F1クロス）の飼養を主とする経営をいいます。

- 育成：生後1～2週間の牛を導入し、肥育用のもと牛として農家等へ出荷するまで飼養
- 肥育：もと牛を導入し、肉向けとして出荷する

経営耕地・飼料作物の作付実面積状況

過去1年間について、経営耕地面積及び飼料作物の作付実面積を記入してください。

経 営 耕 地 面 積
(22)
: : ha : :

経営耕地面積のうち、飼料作物を作付けした実面積を田畑別に記入してください。

飼料作物計(実面積) (24)+(25)	田	畑
(23)	(24)	(25)
: : ha : :	: : ha : :	: : ha : :

💡 記入のポイント 💡

経営耕地面積(22)

経営耕地面積には、飼養者の方が農作物を栽培するために所持している土地（借入地や小作地も含みます）の合計を記入してください。

経営耕地には、肥培管理（播種や耕起）を行っている牧草

飼料作物の作付実面積(23)

経営耕地のうち、飼料作物を作付けした実面積を記入してください。

飼料作物とは、飼料とするための牧草、青刈りとうもろこし、ソルゴー、青刈り麦類

飼料作物を作付けした実面積のうち、借入地への作付けがありましたら、実面積

田 の 借 入 地	畑 の 借 入 地
(26)	(27)
: : ha : :	: : ha : :

放牧の状況

過去1年間に放牧した肉用牛の頭数を記入してください。

放 牧 頭 数
(28)
: : : : :

放牧頭数のうち、成牛の頭数を記入してください。

(29)
: : : : :

💡 記入のポイント 💡

放牧頭数(28)

放牧頭数には、牛を運動させることを主な目的とした、運動場などで放し飼いをしている牛は含めません。

成牛の頭数(29)

成牛とは、以下の牛をいいます。

- 2歳(24か月齢)以上の牛



【記事欄】

SAMPLE